


『気まぐれな散策』 寸評

- ・和声配置の配慮がグッとよくなった
- ・重たげな足どりの金管四重奏 コミカルで奏者によろこばれそう
- ・スタッカートが演奏内容をとてもイキイキとさせている
- ・見通しのいい形式が実現されており、m.9-12の平行長調への転調も所を得ている
- ・油断のならぬ音楽を予期させるタイトルも上手い

完成度をさらに上げるために

- ・ m.7 b.4-6 B.Trb.とTrb.の音域が逆転している
特に理由がないかぎりあまり好ましくない
- ・ m.8 b.1-3 Trb.はソのまちがいであろう
- ・ m.9 b.3, m.11 b.3 のTp.IとTrb.の関係、さらにm.10 b.3のアンサンブルは許容範囲を超えた不協和なぶつかり
- ・ m.15 b.4 Tp.IIは#をつけて実音F#だとおもわれる
- ・ コラールのようにさいしょからさいごまでアンサンブルで推移するので、ダイナミックは全パートおなじでよい
- ・ m.9-12 Tp.IIとTrb.の音数を減らして遊びをつくった方が曲想の変化がより対比的にひきたつとおもう
- ・ m.9-12 Tp.I にスラーがあつてよい
- ・ m.9-12 B.Trb.も  のように休みをあたえたらどうだろう
- ・ 全体を通じてTrb.の音域が低い トランペットとの3声をねらった方がよりアンサンブルがスッキリひびく
- ・ *capriccioso* 等、発想標語をつけるとなお奏者に親切

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

各パートにゆとりをあたえてもっと遊ぼう!

持麿 勉